

原料費調整制度に基づく2026年7月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	172.54	150.99	138.37
(参考) 6月 調整単位料金	171.94	150.39	137.77

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	(消費税込)		
	2026年 6月	2026年 7月	増減
適用料金(円/月)	6,710	6,731	21

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

3. 原料価格の変動

	(円/t)		
	2026年1月～2026年3月 の平均 (6月検針分)	2026年2月～2026年4月 の平均 (7月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	83,690	84,460	770
LNG	87,000	87,440	440
LPG	88,730	97,800	9,070
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	28,800	29,500	700

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 87,440 \times 0.9206 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 97,800 \times 0.0405 \\ \hline &= 84,458.16 \\ &\downarrow (10\text{円未満四捨五入}) \\ &= 84,460 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 84,460 \text{ 円/t} - 54,870 \text{ 円/t} &= 29,590 \text{ 円/t} \\ &\downarrow (100\text{円未満切捨て}) \\ &= 29,500 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 29,500 \text{ 円} / 100\text{円} \times 0.0858^{*1} \\ &= 25.31 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,296.10円)} \\ &+ \text{調整単位料金(125.68円)} + 25.31 \text{ (円)} \times 36\text{m}^3 \\ &\quad \text{基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \text{\uparrow 単位料金調整額(税込)} \\ &= 6,731 \text{ 円} \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。